

5 月度土曜例会 (2013/05/18)

本日は IIN 第 2 回公開例会、会員以外にも数多くの人たちに参加していただき IIN の理念及び活動内容をより理解してもらおうと言う特別な例会です。今回は特に市内の高校生、大学生に働きかけを行いました。講師としては最適任者である国際多読教育学会の高瀬敦子先生を迎える事ができました。茨木市内の高校の先生からのコメント、よくもまあ高瀬先生に来ていただけましたねえ、と感嘆の声しきりです。現在関西大学・関西学院大学および甲南大学で教鞭をとっていますが、多読指導は 17 年前に高校生からスタートし、2 年後には大学生にも導入しました。・大阪国際 (8 年)、近畿大学 (7 年) ・関西大学 (12 年継続中)。



学生以外にも多くの人々に各種講演会などで接し、また著書に「英語多読多聴指導マニュアル」があります。一般的に日本人は英語教育を 10 年も受けているのに活きた英語を話せない、聞けない、時には多くの学生が英語嫌いになってしまう、何故? という問いに対する答えが聞けそうですしその解決方法が得られそう。最後に各大学、高校、中学における TOEIC, GTEC, 英検、等の成果データを数多く示し ER 実践の結果を証明してくれました。今日は学生のみならず日頃英語に一生懸命取り組んでいる IIN メンバーも必見、必聴、必読です。数多くの資料が配布された上メールで膨大な追加資料も送っていただけたので今更内容を記述する必要がありませんがポイントのみ下記します。

- What is Extensive Reading (ER)?
- Why is ER necessary?
- Differences between Traditional Approaches to Reading and ER
- Two Crucial Factors for Successful ER are SSS (Start with Simple Stories) and SSR (Sustained Silent Reading)
- SSS helps learners to break the habit of translating English into Japanese and to form a habit of reading English as it is and to form a habit of reading English as it is.
- SSR enables students to concentrate on reading books, and teachers to observe how students are reading and give necessary advice on the spot.
- ORT (Oxford Reading Tree)



Stories from the ORT series were originally written for school pupils in the UK. The characteristics of books from the ORT series are summarized as follows: (1) they are used at primary schools in the UK; (2) the stories are arranged from stage 1 to 9 (238 books in total); (3) fixed characters appear; (4) they are delightful stories with an interesting plot in natural English; (5) the same vocabulary and sentence structures appear repeatedly; (6) vivid descriptions of life in the UK can be found. The differences in learning approach between these two types

of material are summarized in Table 1.

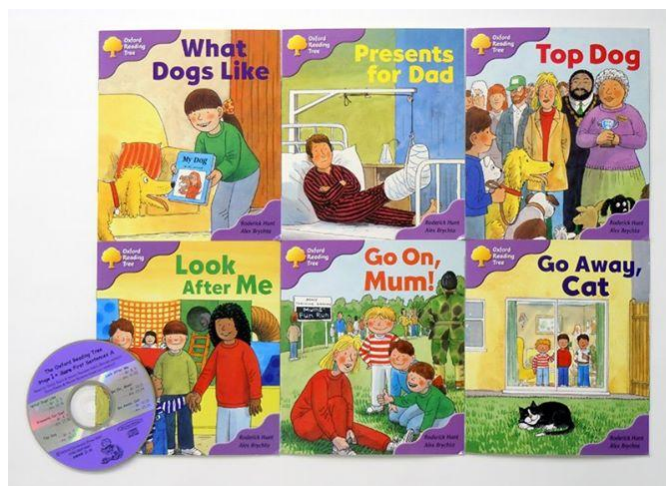
Table 1

School textbooks	ORT
Explicit introduction of grammatical features and vocabularies	Repeated and recycled presentation of grammatical features and vocabularies
Unnatural context	Storyline and context provided with "experience of the whole story"
Deductive approach of grammar learning	Inductive approach of grammar learning

旧来の英語教育に関する問題提起として下記内容をアピールしています。

内容面で、両者の差異として挙げられる大きな要素は、話題設定・場面設定にある。ORTの設定は当然日常生活の中で母国語を使用する場面が主流であり、その中で非日常的な場面を設置し（たとえば魔法のカギで冒険の旅に出る）、外界の文化・歴史等に触れるように様々な工夫がなされている。場面設定は自然なものであり、それに伴う文章表現も日常自然に使用される会話が主になっている。一方、日本の中学生用文科省検定教科書は、場面設定に多少不自然さがある場合があり、実際には起こる可能性が少ないであろう非日常的な設定場面もみられ、その会話を学習しても使用する機会がほとんどないことがある。

また、文法に関する文科省の制約が大きいためか、学習目標文法事項が短い英文の中に詰め込まれ、どうしても不自然な表現になっている場合がある。結果的に実際に使用するための学習にはなり難い状況といえるであろう。



両タイプの教材の作成目的の違いは、それぞれの語彙・文法の導入法にも反映されている。一番大きな違いは言うまでもなく母語習得と外国語習得との違いを意識した構成である。つまり、母語話者は文字を学ぶ以前に音声によるインプットを通してその言語をある程度習得しているが、外国語学習者の場合は音声での導入が少なく、文字と同時あるいは文字が先行することが多い。そのことによる使用語彙の違い、文法導入方法の違い等があげられる。ORTは文法的な説明は一切なく、



一つのストーリーからなる一冊の本の中で話の展開に応じた種々の自然な場面を設定し、同じ文法事項を繰り返し出現させることによって学習させる方法を採用している。学習者は読書をするにより、実際に日常使われている文法事項が自然な文脈に沿ってインプットされ、無意識のうちに自ら学習していくことが意図されている。さらなる大きな違いは、ORTはシリーズもののため、基本的に語彙・文法・文化導入すべてにおいて、繰り返しの頻度が高い。本のレベルが上がるごとに語彙・文法・文化面の導入

が増え高度にはなるが、あくまでも、既習語彙・文法・文化等を何度も繰り返し提示しながら、新項目が提示される。伝統的な文法学習を軽んじ、無用だと論じているのではない。検定教科書の英語導入法は、ESL の環境ではない日本の社会において、語彙文法項目の定着と使える英語の両者の間で最大公約数的に学習事項を提示しているものであろう。しかしながら、中学・高校で6年間英語を学習してきた大学生が、自分の専門分野の英語文献を読めず、また場合によっては英語嫌いとなって再履修に甘んじなければならない事態は、今までの形式重視の文法学習が何らかの見直しを必要としているというサインではないだろうか。日本の言語環境ではORTのような多読教材だけでは文法項目の習得は難しいであろうが、検定教科書とORT のような多読教材を併用することで、形式を定着させ、また実際にその形式が使われる場面に多く触れることで、言語使用状況の疑似体験をする機会を提供できるのではないだろうか。ビジネス、外交から外国人との個人的な友情の育成にいたるまで今日の世界には英語ですることはたくさんある。高等教育機関では英語を習得することを最終目的とせず、英語で何かをすることができる場になるために多読は大きな力を発揮できるのではないだろうか。

Q&A

- ERは和訳する必要はないんですか？言葉が無く絵本だけでも話が推測できます。そこが基本。ORTに関して、そうそう！お知らせです。多読図書Oxford Reading Tree の作家とイラストレーターを多読学会がイギリスから招待して、講演を予定しています。参加費は無料「ORTの魅力・秘話を著者が語る」、6月22日 土曜日 2時～4時30分 場所は神戸国際大学です。どうぞ参加下さい。
- CD は付いていますか？勿論付いています。OBW 少し遅めです。
- 読み返す必要は？次から次へと読み進んでください。80%理解出来れば充分です。楽しんで！
- 沢山の本ですが？皆でまとまり図書館に買わせましょうよ、名古屋で実績あります。皆で買ってシェアする手も有りますね。図書館と言えば大阪府で経費削減のため、公立中高の図書館司書が撤廃されましたが、学校側は図書館利用の自由はきかなくなり、図書管理者がいなくなったため、図書館が荒れ放題で大いに困っているそうです。教育現場での図書館の役割は非常に大きいので、できるだけ早く復元してほしいものです。小中学の図書士をずいぶん辞めさせましたよね、どうやって図書を管理しろと言うのでしょうか。
- 高校の時先生が読書を薦めてくれへミングウェイ、その他数多く読破しました。先生も良ければ生徒も良かったのですよ、両者の意思が重要です。夏目漱石も英語の多読を薦めていました。
- 私オーストラリア人でちゃんとした英語ではないかもしれませんが70歳近くなった今でも勉強を続けています。年齢など関係有りませんよ。IIN のようなリタイア後の皆さん方の姿勢素晴らしいと思います。
- 音読と黙読の効果のほどは？子供にどう指導したらよいかと悩みます。両方ともOKですよ。大声で読む事を薦める説もあります。
- 英語は嫌いで辞書も使わずでした。今英語で音楽を聞きなおし楽しんでます。何でも良いから楽しんで下さい。



より詳しく勉強されたい方は下記参考文献をどうぞ。

1. 大槻きょう子・高瀬敦子；多読用図書教材が英語習得に及ぼす影響—L1 児童用英語絵本と中学英語教科書との違い—。関西英語教育学会（KELES） 紀要『英語教育研究』（SELT）第 35 号 論文（2012 年）
2. Otsuki, K., & Takase, A. (2012). Comparison of pedagogical grammar in picture books and English textbooks. *Extensive Reading World Congress Proceedings*, 1, 116-119.

学術的で難しかったけれど、質問もたくさん出て参加者一同大満足。

参考になるお話ありがとうございました。